

絵本画家紹介 2010年、国民読書年に **生誕100年** を迎えた2人の巨匠

○レオ＝レオニ (Leo Lionni)



『あおくんと きいろちゃん』
レオ・レオニ作
藤田圭雄訳
至光社

デザイン、油彩画、彫刻、版画、写真など幅広い分野で活躍していたレオニ。ある日、汽車の中で孫たちを楽しませるため、物語「あおくんときいろちゃん」を即興で作し、この絵本がデビュー作となりました。代表作に『スイミー』『フレデリック』など。レオニの作品は色や形、物語の展開が印象的で、心に残る絵本として何世代にも読み継がれています。

【レオ＝レオニの略歴】

1910（明治43）年オランダ生まれ。アメリカに亡命後、イタリア・アメリカ両国で活躍。1981年日本に1カ月間滞在。1999年に死去。

【人物、作品についての詳しい情報はこちら】

『世界児童・青少年文学情報大事典 13巻』勉誠出版
「いつも心に童心を レオ・レオニの創造世界」
松岡希代子 「芸術新潮」1997年2月号
『平行植物』 工作舎、筑摩書房

○赤羽末吉 (あかば すえきち)



『スーホの白い馬』
大塚勇三再話
赤羽末吉絵
福音館書店

『スーホの白い馬』で有名な絵本画家。日本の雪景色を墨絵でしっとりと描いた『かさじぞう』、怖いがどこか愛嬌がある鬼が登場する『だいくとおにろく』、『ももたろう』『つるによぼう』など日本の昔話の世界を深く豊かに描きました。

【赤羽末吉の略歴】

1910（明治43）年東京生まれ。1932年満州大連に渡り、1947年帰国。1961年『かさじぞう』で絵本デビュー。1980年国際アンデルセン賞画家賞を受賞。1990年に死去。

【人物、作品についての詳しい情報はこちら】

『絵本作家文庫 赤羽末吉』

小西正保編 すばる書房

『絵本よもやま話』

赤羽末吉著 偕成社

『私の絵本ろん』

赤羽末吉著 偕成社

「赤羽末吉の世界」 「この本読んで！」2005年冬号



子育て支援と絵本 甲府市中央部幼児教育センターの取り組み



甲府市中央部幼児教育センターは、小学校前の子どもと、保護者のための子育て支援の施設。いつでも自由に親子で遊べるプレイルームがあり、育児相談、子育てのセミナーや講演会が開かれています。絵本の読み聞かせの時間があると聞き、昨年、12月に取材に伺いました。その活動内容は…

1 毎日、絵本！

- ・センターの活動では、毎日、絵本が登場します。午前と午後で開催される「にこにこたいむ」「ミニタイム」や、地域の3つのボランティア団体が、月4回行う「おはなしの会」で絵本の読み聞かせをしています。
- ・いずれも、自由参加。この時間を目当てにやってくる親子もいるそうです。
- ・参加している子どもたちの年齢は、取材時は0歳～3歳ぐらいでした。

2 図書室に、絵本がいっぱい！

- ・プレイルームの隣に図書室がありました。赤ちゃんから楽しめる絵本がたくさん揃っています。
- ・図書室の本は、親子が自由に手に取ることができます。

3 広報誌で、絵本を紹介！

- ・毎月発行している「中央部幼児教育センターだより」の「今月のにこにこタイム」で絵本を1冊、内容も紹介しています。季節にぴったりの絵本がセレクトされています。

「にこにこタイム」と「おはなしの会」の詳しい活動の様子を、次のページ（裏面）で紹介しています！

「にこにこタイム」 in 甲府市中央部幼児教育センター

開催日時 毎日2回、午前 11:00～、午後 1:30～ 各 30 分間
(行事がある場合は変更)
(土曜日、日曜日は、ミニタイムで開催！)

担 当 職員4名が1名ずつ交替で担当。広報誌記事も作成。
内 容 わらべうた、ふれあい遊び、絵本、紙芝居、楽器、
ボール、体操など(当日の子どもの年齢で決定)
子どもから「あの絵本読んで！」とリクエストされる場合も。

にこにこたいむの様子

CD♪手をたたきましょうで元気よく始めました。わらべうた♪おすわりやすいすどっせでは、ママの膝の上で子どもたちはにこにこ。アンパンマンの手遊びはクリスマスバージョン。紙芝居「おおきくおおきくおおきくなあれ」(写真)で、職員が子ども1人1人に「(ケーキを)はい、どうぞ」と手渡ししぐさをすると、顔を近づけ食べる真似をする男の子も。最後は定番の♪ロンドン橋で親子仲よく、布のアーチをくぐっておしまいです。

始まる前に、ママが子どもに「お歌、歌おうね」と楽しそうに話しかけ、終わった直後に男の子が「この紙芝居好き！」と職員に話しかける様子を見ました。図書館を含む多くの施設で、特別な時間と考えられている行事が、ここでは、日常の出来事として体験できることを実感しました。



なでしこの会の「おはなしの会」 in 甲府市中央部幼児教育センター

開催日時 毎月1回 午後 1:30～ 30 分間
担 当 会員4名が2名交替で担当。職員1名も付きそう。
内 容 絵本の読み聞かせ、わらべうた

おはなしの会の様子

♪ガタゴトバスで出発！絵本『いいおかお』『うしろにいるのはだあれ』『ととけっこう よがあげた』を読んだ後は、もぐらの人形が登場。♪もぐらどんのおやどかなを歌いながら遊びます。(写真)『バスがきました』『ペアペアくんのいそがしいあさ』は選んだり、当てたりできる絵本で、子どもたちも楽しそう。最後は、『できるかな？あたまからつまさきまで』『一緒に体操しよう！』と子どもに呼びかけ、うまく真似できると大人たちは「上手だね」と褒めていました。

なでしこの会は、甲府市立図書館などでも長年、活躍されています。始まる前に「今日は大きい子もいるね。この本難しいかなあ。」と子どもの年齢に合わせて本を選び直し、順番をパッと決める様子や、読み聞かせすると子どもたちがぎゅーっと絵本に引き込まれ、思わず体が前に出てくる様子に、読み聞かせのベテラン達の実力のすごさを垣間見たおはなし会でした。



ひまわりの会の「おはなしの会」 in 甲府市中央部幼児教育センター

開催日時 毎月1回 午後 2:15～ 20 分間
担 当 会員4名が全員で担当。
同じ日に、甲府市北部幼児教育センターでも実施。
内 容 絵本の読み聞かせ、手あそび

おはなしの会の様子

♪ひまわりバスの歌で始めました。手遊び♪はじまるよっからはじまるよの後、『いいおへんじできるかな』『いただきますあす』を読み聞かせ。じーっと見つめるママと子どもの口がぽかんと開いていました。♪あたまをくもの～で遊んだ後、『ねずみくんのクリスマス』わらべうた♪もちっこやいては、クリスマスケーキも焼きました。『クリスマスの12にち』はCDに合わせて歌い、記憶力を試します。(写真)最後は♪ひまわりバスでおうちへ帰りました。

ひまわりの会は、センターで開催したボランティア養成講座の参加者が結成した会。メンバーは幼児教育のプロや読み聞かせの経験者たち。お揃いの黄色いエプロンをつけ、季節感ある内容や、英語の絵本を読むなど工夫をしているそうです。現在、会員を募集中！とのことですよ。

